

The Human-Animal Bond

Today, more people have pets (or, as they are more often called in the literature, companion animals) than they do children. According to a recent article in *Pet Business*, 229 million pets (cats, dogs, birds, fish, and small mammals) live in the United States alone. One study has shown that 99 percent of cat and dog owners consider their pets to be full-fledged family members. Another reports that 82 percent of cat owners, 73 percent of dog owners, and 63 percent of bird owners cite companionship as the major reason for owning their pets.

[構文分析と解説]

ポイント：出だしの訳しかた一つで、読者が手にとってくれるかどうか決まる。作者の思いをこめた一行を伝える思いきった表現がほしい。列挙はうるさくならないよう配慮する。

1<Today>, 2<more people have> pets (3<or>, (4<as they> are more often called in the 5<literature>), 6<companion animals>) 2<than> they 7<do> children. 8<According to> a recent 9<article> in 10<*Pet business*>, 229 million pets (11<cats, dogs, birds, fish, and small mammals>) live in the United States 12<alone>. 13< One study> 14<has shown> (that 99 percent of 15<cat and dog owners> 16<consider their pets to be>17<full-fledged> family members). 18<Another reports> (that 19<82 percent of cat owners, 73 percent of dog owners, and 63 percent of bird owners> 20<cite> 21<companionship> /20<as> the major reason for owning their pets).

1 「今日（こんにち）」 「現代は」 「今は」 「いまは」 「今では」 いずれも可だが、選んだ言葉によって後の文のトーンが決まる。また掛かり方も自ずと選択される。「今日、多くの人が...」 「現代は、子供より...」 など

2 more A than B で、A、B に節がくる形。ペットを飼う人と子供をつくる人を多さの点で比較。have は意味を狭める「持つ」 → 「飼う」

3 選択の or 「または」。一般語に対し、専門語での言い方を導いている。

4 as は様態を示す接続詞「...のように」。they は pets

5 多義語の吟味。「文学」ではない「文献」 → 「学術語」

6 定訳を調べる。「コンパニオン・アニマル」（ナカグロは好きずき）または「伴侶動物」

7 代動詞。have を受けている。they は people

8 文頭で「...によれば」 文中で「...に応じて」

- 9 (c) 記事、論文、論説、のうち、ここでは「記事」とするのがよいだろう(*Pet Business* は純専門誌でないので)
- 10 雑誌名のため斜体となっている
- 11 1, 2, 3, 4, and 5 の並列(and は並列終了のしるしだから、「そして」と記さない方がよい)
- 12 前の the United States に掛かる
- 13 (c)「研究(論文)」
- 14 この show は「…を明らかにする」「…を証明する」の意味
- 15 cat と dog が並列し、形容詞的に owners に掛かる
- 16 SVOC の構文。O が their pets、C が to be full-fledged(O が C であると、S が考える)
- 17 合成語の訳語は元の意味から組み立てる。「十分に、羽根の生えそろった」(比喩的) → 「一人前の」「立派な」(具体的)、と読み解く
- 18 one study に対し、another (study)と言っている。「別の研究は…のように報告している」
- 19 1, 2, and 3 の並列
- 20 cite ~ as — 「~を一と考える」
- 21 「交際」「仲間づきあい」「親しい仲間」といった辞書的な訳語では説得性が弱い。踏み込んで、単語に対してではなく文脈に対して、納得できる言葉にする

[優秀者の訳例 I]

人間と動物の絆

現在の米国社会では、こどものいる人よりもペット(現在では、伴侶としての動物、という表現がよく使われる)を飼う人のほうが1<数の上でまさっている>。最近発行された2<ペット業界誌>は、米国だけで2億9900万3<匹>の(猫、犬、鳥、魚および小動物)が飼われていると報じている。ある研究報告によれば、猫および犬の飼い主の99パーセントは、ペットを家族の一員と考えているという。また、別の報告書では、猫の飼い主の82パーセント、犬の飼い主の73パーセント、鳥の飼い主の63パーセントが、ペットを飼う最大の理由は4<仲間意識である>と答えている。

アドバイス:

- 1 譬えでいっているのだから、理屈っぽくしない。「多い」または「多いようだ」(ようだ、と入れるのは、日本語の語調の重視。翻訳で許される範囲)
- 2 よく知られている雑誌なら「ペットビジネス」とするが、余り知られていないのならこのように普通名詞にするのも考え方としては正しい。ただし「業界誌」はいいイメージ

を与えない、「専門誌」としたほうがよいだろう。

3 鳥一匹とはいわない。いちいち匹、羽、と訳しわけるのはうるさいので、数字だけで済ます工夫をする。

4 「理由は...仲間意識である」とつづけるのは、×ではないがここだけ硬い感じになる。「仲間意識がほしいから」と言葉を補う。